

第38号

スポーツ推進委員だより

宮崎市スポーツ推進委員協議会



宮崎市スポーツ推進委員協議会 総会

4月23日(土) 宮崎市保健所

安藤副会長の開会宣言から始まり、山本会長の挨拶があり、議長・書記選出の後、議事へと入っていききました。昨年まで協力事業だった“宮崎市障がい者スポーツ大会”は今年から主管事業になりました。

また、今年度から企画部が新設。研修部長の松竹昭彦さんが企画部長に抜擢され、新研修部長は井上竜志さんが快く引き受けてくださいました。新たな推進委員の活動への協力をお願いいたします。

総会は特に問題もなく閉会となりました。

総会終了後の懇親会では、地区体育会会長、文化スポーツ課の職員と親睦を深めました。



各部の紹介

事業部会

地区対抗大会(ミニバレーボール・ビーチボールバレー・駅伝・グラウンドゴルフ)、地区交流ニュースポーツ大会、宮崎市障がい者スポーツ大会など主催事業の班長(運営責任者)として大会を取り仕切る。各事業の事前に班会を行い当日の段取りを決める。



研修部会

年3回程度の自主研修会を主催。新人研修をはじめ、障がい者スポーツ・シナプソロジー・コオディネーショントレーニングなど学ぶ機会を企画・運営する。



企画部会

今年度から新たに発足しました「企画部」です。一皮むけたスポーツ推進委員と協議会をめざしてコツコツとやっていきます。皆さん よろしくお願ひ致します。

部長 松竹昭彦
副部長 末吉みどり

広報部会

年3回広報誌を発行。主催事業、協力事業、出前講座、地域活動など推進委員が関わっていることを記事にする。部会は月1回程度。現在7名で活動中。





宮崎市文化スポーツ課 新体制

本市では「豊かなスポーツライフの実現と活力あるスポーツランドみやざきの推進」の理念のもと、地域スポーツの推進に取り組んでおります。スポーツ推進委員の皆様には、その中心的な役割を果たしていただきたいと考えております。

本市とスポーツ推進委員の皆様で一丸となって、スポーツを通じ総合スポーツ戦略都市みやざきを目指して一緒に盛り上げていきましょう！！

一年間このメンバーで頑張ります！！よろしくお願いいたします。



協力事業



第31回シーガイアジョギングユニファイド大会

4月17日(日) シーガイア駐車場

参加者 約1,400人

大会前の熊本地震の影響で、ランナーや100人近い学生ボランティアのキャンセルが相次ぎました。そして、天気予報は雨。どうなることかと心配しました。しかし当日は、素晴らしい天気恵まれ、学生に代わり先生方や各方面の方々が、急遽ボランティアに参加して頂き、多大な協力をいただきました。スポーツ推進委員もいくつも掛け持ちで仕事をこなし、存在感をアピールできたのではないのでしょうか。

親子、カップル、友達などと参加したランナーは宮崎の素敵な自然を満喫しているようで安心しました。(広報部 児玉)



第41回市民サイクリング大会

5月22日(日) フェニックス自然動物園

参加者 約250名

カラフルなウェアに身を包んだ参加者は、Aコース(17km)とBコース(7km)に分かれ、フェニックス自然動物園を発着としたサイクリングロード(一ツ葉サンビーチ~阿波岐ヶ原森林公園)の道のりを楽しんだ。

五月晴れの下、爽やかな風を浴びながら、家族、友人、仕事仲間との会話が弾み、コミュニケーションも図られ、絆が深まったことだろう。

今年はコースが変更されたが、総合型地域スポーツクラブ会員への参加呼びかけもあり、昨年より40名近く増えたとのことだった。

なお、夜は体育協会、サイクリング協会役員との反省会兼懇親会が設けられ、盛り上がった一日となった。(広報部 本部)





ラジオ体操春季指導者講習会

5月15日(日) 南部記念体育館

正しい『ラジオ体操』を知ることができた楽しい講習会でした。

まず、講師が見守る中、多少緊張しつつも子どもの頃から慣れ親しんだラジオ体操第一を行いました。比較的スムーズにできたと思っていたのですが、結構なダメだしを・・・。今までいかに適当に行っていたのか痛感しました。さらに「深呼吸」に始まり「深呼吸」で終わると思っていた体操が、実は「伸びの運動」で始まることを知り、驚きました。

また、ただ体を動かせばいいのではなく、ひとつひとつの動作に意味があり、どの筋肉を意識して行かうかが大切であることも教えられました。

最後に、習ったことを踏まえて、もう一度ラジオ体操をしました。

(・・・本当に疲れました)

「いつでも」「どこでも」「だれでも」できるのがラジオ体操のいいところです。きちんと覚えて、身近なところから普及できたらうれしいですね。(広報部 石田)

参加者 約120名



講師の先生とパチリ



県スポーツ指導者グロアアップ事業

6月27日(月) KIRISHIMAツワブキ武道館

「子どもとどう接するか ~夢をあきらめるな~」と題して、和歌山県体育協会理事長田中章二氏の講演がありました。氏は、ロンドンオリンピックに世界体操会で初めて兄弟3人で出場した、和仁、理恵、佑典さんの父親です。スポーツ推進委員、小・中・高の教諭、競技団体、総合型クラブ等から約80名の参加がありました。講演では、3人の子どもの成長に合わせて話があり、その中で印象に残ったことは・・・

子どもは、真剣に遊ぶ=楽しくなる=好きになる=夢を生む 夢=目標に変える=実現するための計画=実行 子どもだけでは、なさそうですけど。(広報部 安藤)

心	が変われば	態度	が変わる
態度	が変われば	行動	が変わる
行動	が変われば	習慣	が変わる
習慣	が変われば	人格	が変わる
人格	が変われば	運命	が変わる
運命	が変われば	人生	が変わる



生涯スポーツグロアアップ研修会

7月31日(日) KIRISHIMAツワブキ武道館

宮崎市の推進委員41名、総勢83名の参加がありました。午前中は『生涯スポーツ社会の実現で延ばそう宮崎県の健康寿命』と題し、東海大学准教授久保田晃生氏の講義が行われました。氏には、健康や医療に関する様々な統計データを示していただきました。中でも、健康寿命が全国1位の山梨県は 家族での食事時間の長さも全国1位であり、健康寿命と家族団樂の長さの関係が深いということを知りました。我が家も見習わなければと思いました。

また、県民が一人1000歩、毎日の歩数を増やしたら、医療費が200億円削減できるそうです。そのためにも、県が作ったウォーキングアプリ『SALKO』を私たち自身が積極的に利用し、県民に広めていくことがスポーツコーディネーターとしての大切な役目なのだと思います。

午後からはグループワークを行いこれからの行動目標を発表しました。

推進委員としての使命を再確認できた有意義な研修でした。(広報部 栗原)



江平地区の活動紹介

羽島康浩 松村房夫 江口由子 長友ひとみ

江平地区体育会は、会長、副会長、スポーツ推進委員が中心となり各行事に取り組んでいます。地区対抗競技の予選会では、種目毎の協力者も大会運営に携わっています。協力者の呼びかけのおかげで、年々参加者も増えています。

また、毎年11月3日(祝)に宮崎東中学校で江平地区対抗大運動会があり、幼児から高齢者まで幅広い年代の参加があります。運動会終了後の抽選会では、自転車や電気製品などの賞品もあり、大いに盛り上がります。数年前から東中のバザーとタイアップし、地域の交流の場となっています。

他にも、まちづくり主催のカロリング大会や玉入れ大会の協力など、地域の方とのふれあいを大事にしています。

ラジオ体操会

子ども会キャンプとタイアップ



ミニバレーボール大会

年々参加者増

1位グループ準優勝



39歳以下女子

3位グループ優勝



40歳以上男子

駅伝大会

3年前から復活



江平地区合同運動会

一部地区は入場時仮装



カロリング大会

まちづくり主催事業に協力



今後の予定



- 9月20日(火)・・・宮崎市障がい者スポーツ大会：班会
- 9月22日(祝)・・・第1回まくら投げ大会：宮崎公立大学
- 9月25日(日)・・・宮崎市障がい者スポーツ大会：生目の杜運動公園はんぴドーム
- 10月29日(土)・・・ITUトライアスロンワールドカップ応援ウォーキング大会
- 11月15日(火)・・・第5回地区対抗ビーチボールバレー大会：班会：
- 11月17日(木)～18(金)・・・第57回全国スポーツ推進委員研究協議会：福井県福井市
- 11月20日(日)・・・第5回地区対抗ビーチボールバレー大会：
- 12月3日(土)～4日(日)・・・第56回県スポーツ推進委員研究大会：串間市
- 12月11日(日)・・・第30回青島太平洋マラソン大会：宮崎県総合運動公園(協力事業)
- 12月 未定・・・市スポーツ推進委員&体育会連合会合同忘年会



広報スタッフ：部長：長友ひとみ(江平) 副部長：山元美保(檉) 安藤定美(佐土原)

本部伴典(檉) 栗原和幸(大宮) 児玉麻衣子(住吉) 石田美智代(瓜生野)